

令和6年度

横浜市安全管理者会議

臨床工学技術部会

活動報告書

済生会横浜市南部病院

臨床工学士

渡邊 俊明

臨床工学部会メンバー13病院

- 済生会横浜市南部病院
- 横浜市立市民病院 ○ 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
- 横浜市立みなと赤十字病院 ○ 横浜市立大学附属病院
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
- 横浜労災病院 ○ 昭和大学横浜市北部病院
- 済生会横浜市東部病院 ○ 横浜医療センター
- 横浜南共済病院 ○ 昭和大学藤が丘病院

(●R6年度幹事病院)

● 平成6年度 臨床工学部会の取り組み

① タスクシフト / タスクシェアへの
取り組みと安全対策

② 在宅医療への
取り組み・安全対策

● 臨床工学技士

昭和62年6月に誕生したまだ歴史の浅い、医療分野のスペシャリストの一員です。

「臨床工学技士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、臨床工学技士の名称を用いて、医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作（生命維持管理装置の先端部の身体への接続又は身体からの除去であつて政令で定めるものを含む。以下同じ。）及び保守点検を行うことを業とする者をいう

（臨床工学技士法より抜粋）

● 臨床工学技士の業務拡大



臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修 (告示研修2021)

ロゴに込めた想い 複数の横顔が履修した臨床工学技士：Clinical Engineerが増えることを示す。
一人ひとりがタスク・シフト／シェアを実現してゆく決意を顕す。

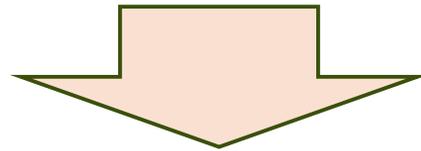
生命維持管理装置を用いた治療において当該治療に関連する医療用の装置（生命維持管理装置を除く）の操作（当該医療用の装置の先端部の身体への接続又は身体からの除去を含む）

- 1.①手術室又は集中治療室で生命維持管理装置を用いて行う治療における静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続、薬剤を投与するための当該輸液ポンプ又は当該シリンジポンプの操作並びに当該薬剤の投与が終了した後の抜針及び止血（輸液ポンプ又はシリンジポンプを静脈路に接続するために静脈路を確保する行為についても、「静脈路への輸液ポンプ又はシリンジポンプの接続」に含まれる。）
- 2.②生命維持管理装置を用いて行う心臓又は血管に係るカテーテル治療における身体に電氣的刺激を負荷するための装置の操作
- 3.③手術室で生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラの保持及び手術野に対する視野を確保するための当該内視鏡用ビデオカメラの操作

● タスクシフト ・ タスクシェア

タスクシフトとは「業務を他職種に移管し負担を軽減・共有すること」です。タスクシフトで医師の業務の一部を看護師・薬剤師、各種技士などに移管することにより医師の業務量や長時間の労働を抑える効果が期待できます。

さらに、看護師・薬剤師、各種技士などのコメディカル間で業務を移管したり共有できたりする。



臨床工学技士は、何を担っていて、これから何を担っていけるか？

厚生労働省
「医師の働き方改革」、スタート。

医師の長時間労働改善に向けた取組にご協力下さい。

2024年4月より、勤務医の残業時間に上限が設けられます。みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

患者さんやご家族のみなさまにご理解、ご協力していただきたいこと

診療時間内の受診	「いつもの先生」以外の対応
日曜が決められた診療時間内での受診にご協力ください。医師が担当していた業務の一部を他の診療スタッフに任せたり分擔することがありますのでご理解をお願いします。	タスク・シフト/シェア 業務の一部を他の診療スタッフに任せたり分擔することがありますのでご理解をお願いします。
	業務主体変更 患者さんの治療を行う医師がチームを編み、1人の患者さんに複数の主治医が対応することがありますのでご理解をお願いします。

詳しくはWEBをご覧ください。

① 医師・看護師からの業務におけるタスクシフト/タスクシェアに対しての臨床工学技士の関わり、取り組みについて

現在、タスクシフト・タスクシェアされている業務
(当部会13病院にてアンケート実施)

◎ **人工呼吸器管理業務**

◎ **酸素療法関連業務**

◎ **血液浄化業務**

◎ **デバイス関連業務**

◎ **アブレーション関連業務**

◎ **手術室関連業務**

など

① 医師・看護師からの業務におけるタスクシフト/タスクシェアに対しての臨床工学技士の関わり、取り組みについて

◎ 人工呼吸器管理業務

- ・人工呼吸器管理における設定変更、吸引を行う。
- ・人工呼吸器装着時の始業点検、ウイニング時のサポート など

◎ 酸素療法関連業務

- ・在宅酸素療法（HOT）導入指導、在宅人工呼吸器、NPPV 導入指導 など

◎ 血液浄化業務

- ・穿刺、止血操作 など

① 医師・看護師からの業務におけるタスクシフト/タスクシェアに対しての臨床工学技士の関わり、取り組みについて

◎ デバイス関連業務

- ・ 遠隔モニタリング管理（アラート対応、解析、カルテ記載など）
- ・ WCD導入指導、MRIカード発行説明 など

◎ アブレーション関連業務

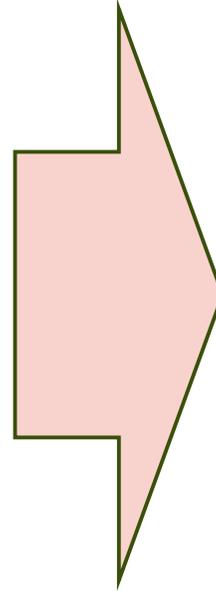
- ・ ラボ（心内心電図）の操作、EPS時の心内刺激
- ・ 3Dマッピング操作 など

◎ 手術室関連業務

- ・ 心臓手術時の麻酔導入補助清潔野でのTAVI弁準備作業
- ・ 内視鏡手術におけるスコーピスト など

① 医師・看護師からの業務におけるタスクシフト/タスクシェアに対しての臨床工学技士の関わり、取り組みについて

- ◎ 人工呼吸器管理業務
- ◎ 酸素療法関連業務
- ◎ 血液浄化業務
- ◎ デバイス関連業務
- ◎ アブレーション関連業務
- ◎ 手術室関連業務



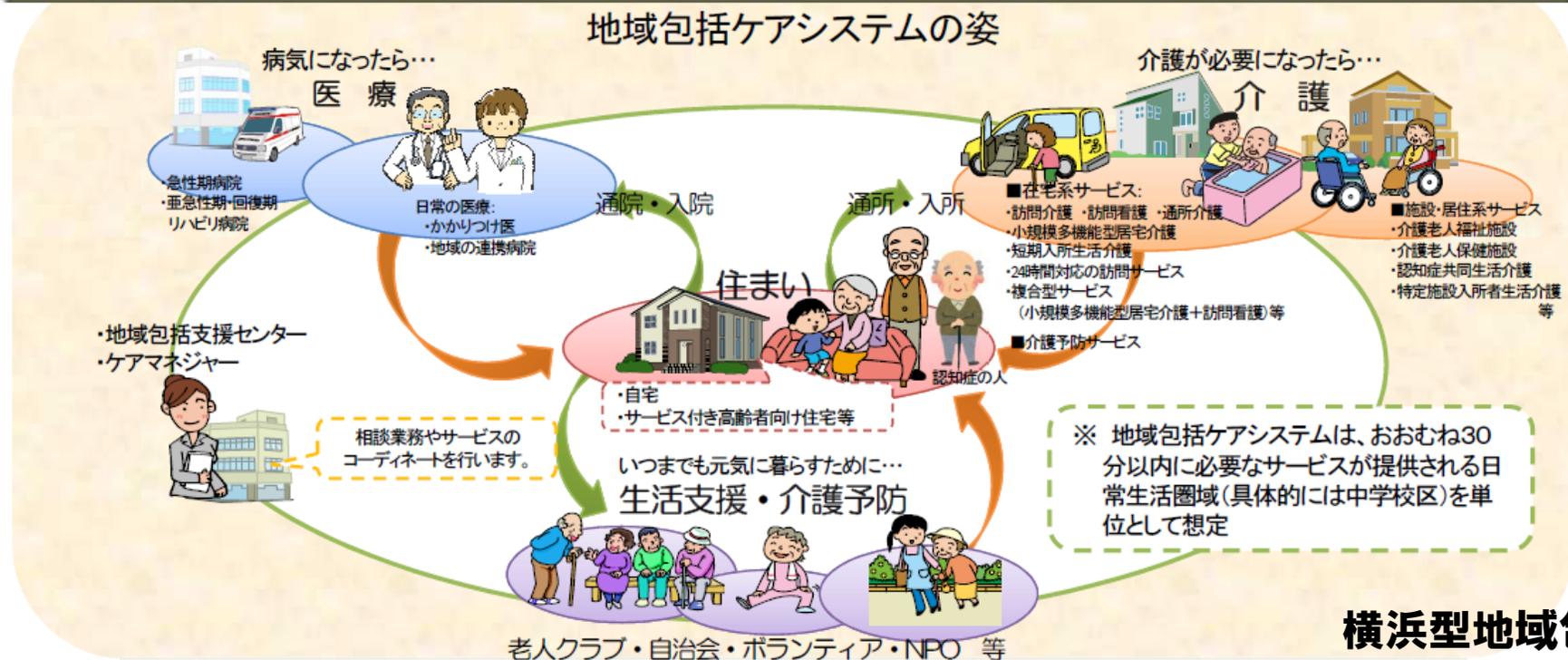
多種分野において
タスクシフト / タスクシェアが
行われ始めている。

今後は、
安全管理（インシデント）対策を
進める必要がある。

● 地域包括化ケア

地域包括ケアシステム

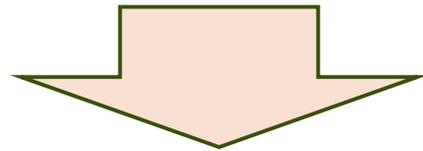
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。



横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針より抜粋

● 在宅医療

横浜市において地域包括化ケアを2025年を目途にシステムの構築が進められてきているが、医療分野として大きな役割を支えているが、臨床工学の観点より、臨床工学技士がどのように担っていけるか？



在宅医療に関して臨床工学技士が
担える業務

② 在宅医療への取り組み

在宅医療に対して、臨床工学技士が関わっている業務
(当部会13病院にてアンケート実施)

- ◎ **人工呼吸器・酸素療法関連業務**
- ◎ **デバイス関連業務**
- ◎ **医療機器装着患者に対するサポート**

など

② 在宅医療への取り組み

在宅医療に対して、臨床工学技士が関わっている業務

◎ 人工呼吸器管理・酸素療法関連業務

- ・在宅人工呼吸器に関する導入指導
- ・在宅酸素療法（HOT）導入指導、外来フォロー
- ・在宅人工呼吸器、NPPV、ASVの管理、導入指導 など

◎ デバイス業務（ペースメーカー・ICD・WCDなど）

- ・遠隔モニタリングの管理、導入指導

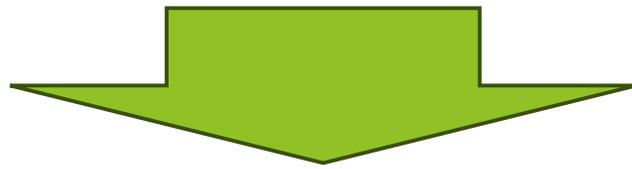
◎ 医療機器装着患者の転出、転入時のサポート

- ・転院・退院時、転入・入院時のサポート（カンファレンスなど）
- ・転院、退院時の移動サポート

② 在宅医療への取り組み

在宅医療に対して、臨床工学技士が関わっている業務

- ◎ 人工呼吸器・酸素療法関連業務
- ◎ デバイス関連業務
- ◎ 医療機器装着患者に対するサポート など



**在宅医療において、
臨床工学技士が携わる業務は
未開発と思われる。**

**今後、地域包括化ケアに関して
データ蓄積が
求められると考えられる**

令和6年度

横浜市安全管理者会議

臨床工学技術部会

活動報告

ご静聴ありがとうございました。